

Mini Disclosure

www.first-bank.co.jp

第100期 ミニディスクロージャー誌

営業の中間ご報告

平成22年4月1日—平成22年9月30日





当行の概要

設立年月日	昭和19年10月1日
資本金	80億円
本店	富山市総曲輪二丁目2番8号
店舗数	67店
従業員数	791名
	(平成22年9月30日現在)

<http://www.first-bank.co.jp/>

CONTENTS

ごあいさつ	3
経営理念・長期経営計画	4
業績ハイライト(単体)	5
資産の健全性	6
地域密着型金融の推進	7
地域への貢献	8
中間連結貸借対照表	10
中間連結損益計算書	10
中間連結株主資本等変動計算書	11
中間貸借対照表	12
中間損益計算書	12
中間株主資本等変動計算書	13
株式のご案内	14
役員	14
連結子会社の状況	14
店舗のご案内	15
店舗外ATMのご案内	16
お知らせ	16

皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当行第100期上半期の営業の概況と決算の状況につきましてご報告申し上げます。

平成22年上半期の日本経済は、前半は旺盛な新興国の需要による輸出の増加を背景とした生産の増加や、設備投資の持ち直し、雇用・所得環境の改善等により、日銀は「改善の動きがしっかりしてきた」との判断を示しました。

また、期の後半においては、猛暑やエコカー減税等の特需が膨らみ、足元の成長率を実力以上に嵩上げし、7－9月期の実質経済成長率は前期比年率で2～3%の上昇に達するとの予測も出されております。

しかし、8月に入ってからの急激な円高は、輸出や生産の拡大にブレーキをかける恐れがあり、加えて、エコカー減税等の国内の政策効果の反動減が懸念されることから、年度後半にかけて景気の回復が一時的に足踏みする「踊り場」に入る可能性があるとの見方も出ています。

この間、政府・日銀は追加的な経済政策や6年半ぶりの為替介入により景気の下支えを行うとともに、今後も必要な場合は適時適切な追加緩和に動く構えを表明していますが、内外の景気や金融市場の動向などに不透明要因が多く、難しい判断を迫られているといえます。

このように不透明要因が多い金融経済環境のなかで、当行グループは適切な対応を図りながら経営全般にわたる効率化、健全化に向けた取組みの強化に努めるとともに、株主さま並びにお客さまの多様化・高度化するニーズへの対応や、利便性向上に向けた体制の整備を図ってまいりました。厳しい経済環境ではございますが、当行は、これからも多様で良質な金融商品・サービスの提供に努め、地域経済の活性化、地域社会の発展に寄与してまいります。

今後とも何卒一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成22年12月



取締役頭取

横田 格

取締役会長

佐藤 純二

経営理念

限りなく

1 クリア(透明)に

地域のお客さまの利便性向上と信頼を確保するため、お客さまに分かりやすく「透明」な情報開示を行います。

2 サウンド(健全)に

地域経済の活性化と事業再生に取組み、収益力の向上を図ることにより、お客さまと私たち双方の「健全性」の向上を図ります。

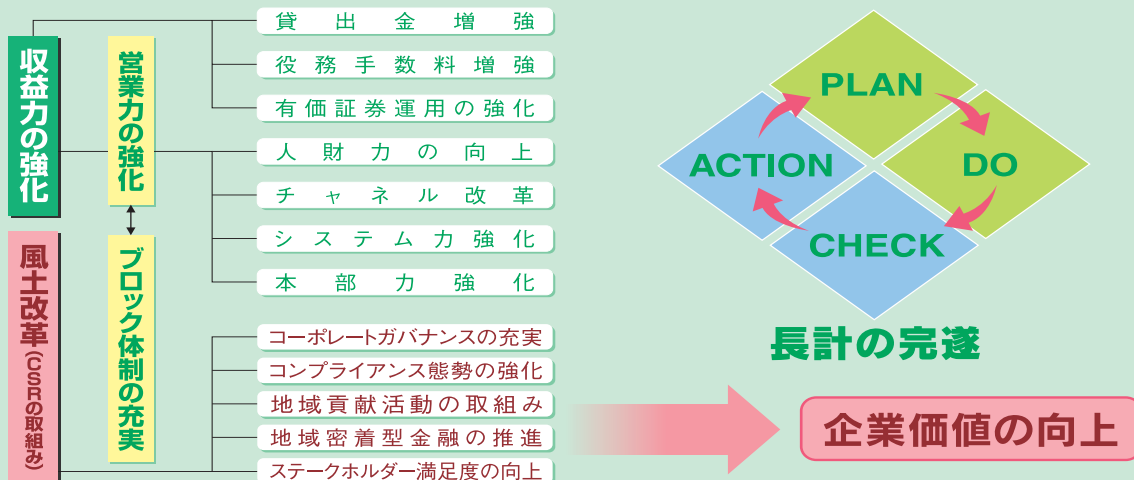
3 フェア(公平)に

コーポレートガバナンスとコンプライアンスを経営の最重要課題とする「公平・公正」な銀行として、お客さまに安心・安全な取引を提供します。

第11次長期経営計画【平成20年4月～平成23年3月】

平成20年4月より、平成23年3月までの期間3年とした「第11次長期経営計画」を展開しています。Next Stageの実現に向けて、「Change!! Do Action」をキャッチフレーズとして、役職員全員が「収益力の強化」と「風土改革」の2本柱に取組み、企業価値の向上を目指しています。

Next Stageの実現 “Change!! Do Action”

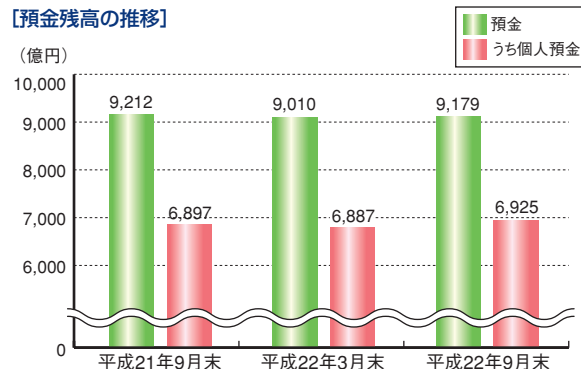


業績ハイライト(単体)

預金残高について

より一層地域に密着した営業活動を展開いたしました結果、預金残高は半期中に168億円増加し9,179億円となりました。個人預金は半期中に37億円増加し6,925億円となりました。

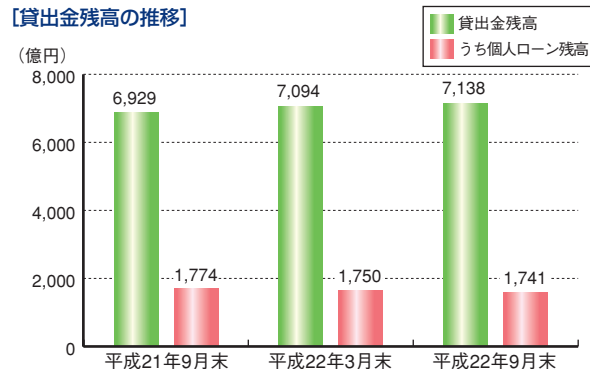
【預金残高の推移】



貸出金残高について

個人向け住宅資金、地元中小企業等を中心とした資金需要にお応えいたしました結果、貸出金残高は半期中に43億円増加し7,138億円となりました。個人ローンは半期中に9億円減少し1,741億円となりました。

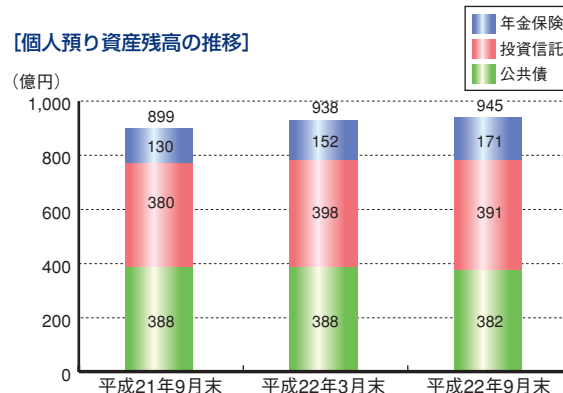
【貸出金残高の推移】



個人預り資産残高について

年金保険、投資信託、公共債等の窓口販売を積極的に推進いたしました結果、個人預り資産残高は945億円となりました。

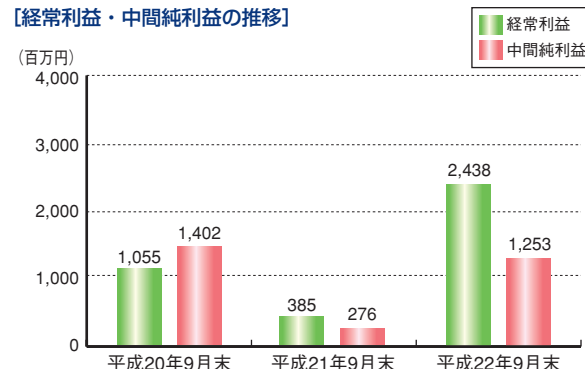
【個人預り資産残高の推移】



経常利益・中間純利益について

不良債権処理費用が減少した結果、経常利益は前年同期比20億52百万円増加し24億38百万円となりました。また、当中間純利益は9億76百万円増加し12億53百万円となりました。

【経常利益・中間純利益の推移】



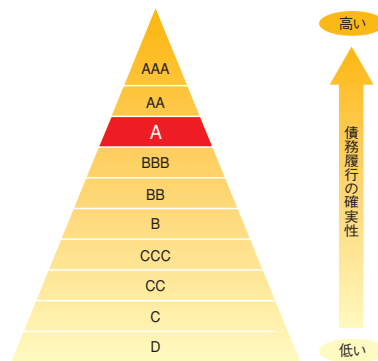
資産の健全性

格付け機関より高い評価を得ています

当行は、株式会社日本格付研究所より、長期優先債務に対する格付「A（シングルAフラット）」を取得しておりますが、平成22年2月の見直しにおいても同格付けを維持しております。

格付け

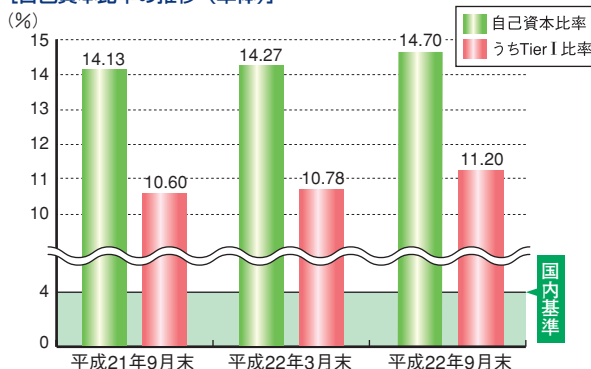
企業などが発行する債券（社債等）や銀行預金の元金・利息支払いの安全度を、第三者の格付け機関が判断し、記号で示したものです。企業の安全度を客観的に評価したものであるとして、重要な指標となっています。



自己資本比率は健全基準を大幅にクリアする14.70%

当行の自己資本比率は14.70%と国内基準で求められている4%を大幅に上回っています。また、基本的項目（本来の自己資本）で算出したTier I 比率でも11.20%と国内基準の2倍以上の高い水準で推移しています。さらに子会社4社を含めた連結自己資本比率は15.21%と一層安定した水準を維持しております。

【自己資本比率の推移（単体）】

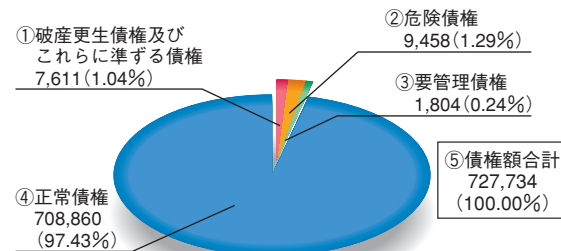


資産内容の一層の健全化に努めています

● 金融再生法に基づく開示債権 (単位：百万円)

	平成21年9月末	平成22年3月末	平成22年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,083	7,281	7,611 ①
危険債権	8,375	9,445	9,458 ②
要管理債権	3,811	1,808	1,804 ③
小計 (A)	20,270	18,535	18,874
正常債権	687,126	705,507	708,860 ④
債権額合計 (B)	707,397	724,042	727,734 ⑤
小計の債権額に占める割合 (A)/(B)	2.86%	2.55%	2.59%
保全額 (C)	16,990	14,979	15,419
貸倒引当金	7,031	6,622	6,499
担保・保証等	9,959	8,356	8,919
保全率 (C)/(A)	83.82%	80.81%	81.69%

【金融再生法に基づく開示債権（平成22年9月末）】



(単位：百万円)
(%)は債権額合計に占める比率

● 地域密着型金融の推進

金融円滑化に向けた取組み

平成21年12月の「中小企業金融円滑化法」の趣旨を踏まえ、地域金融機関として金融の円滑化に寄与することが社会的使命であると位置づけ、借入れ条件の変更などに関するご相談・ご要望に対し迅速、且つ積極的に対応しています。

中小企業金融円滑化法に基づく措置の実施状況

● 貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数及び額

〔債務者が中小企業者である場合〕

(金額単位：百万円)

	平成21年12月末		平成22年3月末		平成22年6月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数及び額	161	2,057	832	12,128	1,734	27,792
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていなかった貸付債権の数及び額	90	1,573	454	8,977	897	21,253
うち、実行に係る貸付債権の数及び額	39	723	402	7,687	828	20,269
うち、信用保証協会が条件変更対応保証を応諾する旨の判断を示した貸付債権の数及び額	0	0	0	0	0	0
うち、謝絶に係る貸付債権の数及び額	0	0	0	0	3	29
うち、信用保証協会が条件変更対応保証を応諾する旨の判断を示した貸付債権の数及び額	0	0	0	0	0	0
うち、審査中の貸付債権の数及び額	51	849	47	1,261	53	798
うち、取下げに係る貸付債権の数及び額	0	0	5	29	13	156
うち、信用保証協会等による債務の保証を受けていた貸付債権の数及び額	71	483	378	3,150	837	6,539
うち、実行に係る貸付債権の数及び額	8	48	252	1,813	657	5,128
うち、謝絶に係る貸付債権の数及び額	0	0	14	85	31	240
うち、信用保証協会等が債務の保証を応諾する旨の判断を示した貸付債権の数及び額	0	0	0	0	6	47
うち、審査中の貸付債権の数及び額	59	375	102	1,173	119	937
うち、取下げに係る貸付債権の数及び額	4	59	10	78	30	232

〔債務者が中小企業者であって、当該中小企業者に対し他の金融機関も貸付債権を有する場合〕

	平成21年12月末		平成22年3月末		平成22年6月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
信用保証協会等による債務の保証を受けていなかった貸付債権に係る債務者のうち他の金融機関に対しても法の施行日以後に貸付けの条件の変更等の申込みが行われたことを確認することができた者から、貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数及び額	58	1,153	264	5,283	540	13,811
うち、実行に係る貸付債権の数及び額	16	460	222	4,519	492	12,987
うち、信用保証協会が条件変更対応保証を応諾する旨の判断を示した貸付債権の数及び額	0	0	0	0	0	0
うち、謝絶に係る貸付債権の数及び額	0	0	0	0	1	26
うち、他の金融機関により法の施行日以後になされた貸付けの条件の変更等の実行を認識していた場合の貸付債権の数及び額	0	0	0	0	1	26
うち、審査中の貸付債権の数及び額	42	692	38	753	37	719
うち、取下げに係る貸付債権の数及び額	0	0	4	11	10	76

〔債務者が住宅資金借入者である場合〕

	平成21年12月末		平成22年3月末		平成22年6月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数及び額	12	153	99	1,370	155	2,150
うち、実行に係る貸付債権の数及び額	0	0	55	820	118	1,698
うち、謝絶に係る貸付債権の数及び額	0	0	1	26	7	99
うち、審査中の貸付債権の数及び額	11	149	36	468	14	190
うち、取下げに係る貸付債権の数及び額	1	3	7	55	16	162

※金額欄は、百万円単位（切り捨て）にて記載しております。

※「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」第7条第1項に規定する説明書類を、平成22年8月12日に公表いたしましたが、その内容の一部誤りがありましたので、訂正いたしました。

※上記表は、訂正を反映させた数値を記載しております。

金融円滑化に係るお客様からの相談をお受けする窓口を設置しています。

金融円滑化相談フリーダイヤル

☎ 0120-462-770

受付時間 平日 9:00～17:00

休日 10:00～17:00

(1月1日～1月3日は除きます)

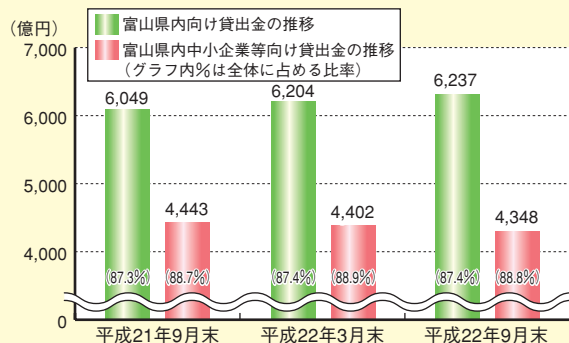
地域への貢献

今までもこれからも、地域の皆さまとともに。

富山県内向け貸出金の推移

平成22年9月末の富山県内向け貸出金残高は6,237億円、貸出金全体に占める比率は87.4%となりました。

また、富山県内中小企業等への貸出金残高は4,348億円、中小企業等貸出金全体に占める比率は88.8%となりました。



基金及び財団による支援

富山ファーストバンク社会福祉基金による平成22年度の助成は13団体、金額は3,435千円となりました。

また、富山第一銀行奨学財団では、平成22年度は33研究機関に総額13,970千円の助成を決定いたしました。

【富山ファーストバンク社会福祉基金】

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
助成先数	11団体	9	13
助成金額	3,500千円	2,846	3,435

【富山第一銀行奨学財団】

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
助成部門	助成先数	30機関	40	33
	助成金額	13,220千円	18,720	13,970
	奨学金	4,874千円	4,314	4,892
	金額計	18,094千円	23,034	18,862

魚津支店移転オープン

平成22年4月19日、新築された魚津商工会議所ビルの一階に魚津支店が移転オープンいたしました。新しい店舗は前面ガラス張り、バリアフリースロープ等を取り入れた親しまれる明るい店づくりといたしました。



新しい魚津支店

魚津駅前支店新装オープン

平成22年6月18日、魚津駅前支店をリニューアルオープンしました。

チャイルドコーナーを設置しており、お子様連れのお客様にもゆっくりとご利用いただけます。



チャイルドコーナーの様子

「新型ATM」の更新

お客様の利便性及びセキュリティ向上のため平成23年3月までに全てのATMを新型ATMへ切り替えます。

「視覚障害者対応電話」が全台標準装備となっております。



ATMコーナーの様子

地域への貢献

研究成果発表会

平成22年6月8日、富山第一銀行奨学財団では、富山国際会議場において平成21年度に研究助成を受けた先生方の「研究成果発表会」を開催いたしました。今回で4回目の開催となりました。



発表会の様子

富山大学の地域再生塾をサポート

平成22年9月3日、富山大学において地域再生塾「高度差4000」のミニフォーラムを開催いたしました。当行は富山大学民間等共同研究員として参加し、実務運営を行っております。



ミニフォーラムの様子

「中小企業応援センター事業」に参画

当行は経済産業省の事業である「中小企業応援センター事業」に参画しております。北陸銀行と共同で金融機関グループとして、「とやま中小企業応援ネットワーク」を設立いたしました。



開会式での頭取挨拶

富山まつりへの参加

平成22年8月7日、「第50回富山まつり」「越中おわら踊り」街流しが行われ、当行から137名の踊り手が参加しました。猛暑にも負けず優雅な踊りを披露し「最優秀賞」を受賞致しました。



おわら街流し

富山あいの風リレーマラソンへの参加

平成22年10月11日、富岩運河環水公園にて第10回富山あいの風リレーマラソンが開催され、当行チーム「富山第一銀行ザ・ファースト」が職場部門で110チーム中4位の好成績をおさめました。



力走中のランナー

金銭教育の出前講座開催

お金を大切に使う気持ちを養うため小学生を対象とした金銭教育教室を開催しております。

平成22年度上期は、10校で16回開催し手作りの紙芝居を使って、子供たちにお金の大切さを教えました。



金銭教育教室での紙芝居

中間連結貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
資産の部	
現金預け金	44,913
コールローン及び買入手形	335
買入金銭債権	-
商品有価証券	285
金銭の信託	800
有価証券	247,768
貸出金	701,997
外国為替	962
リース債権及びリース投資資産	9,339
その他資産	9,295
有形固定資産	9,187
無形固定資産	332
繰延税金資産	7,080
支払承諾見返	4,505
貸倒引当金	△9,861
資産の部合計	1,026,942
負債の部	
預金	917,717
譲渡性預金	-
コールマネー及び売渡手形	9,000
借入金	19,419
外国為替	3
その他負債	6,359
役員賞与引当金	12
退職給付引当金	3,181
睡眠預金払戻損失引当金	74
偶発損失引当金	64
再評価に係る繰延税金負債	1,271
支払承諾	4,505
負債の部合計	961,609
純資産の部	
資本金	8,000
資本剰余金	5,433
利益剰余金	49,079
自己株式	△ 259
株主資本合計	62,253
その他有価証券評価差額金	△1,116
土地再評価差額金	1,462
評価・換算差額等合計	345
少数株主持分	2,733
純資産の部合計	65,332
負債及び純資産の部合計	1,026,942

中間連結損益計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで) (単位：百万円)

科目	金額
経常収益	15,318
資金運用収益	9,157
（うち貸出金利息）	6,372
（うち有価証券利息配当金）	2,759
役員取引等収益	969
その他業務収益	4,809
その他経常収益	382
経常費用	12,571
資金調達費用	1,103
（うち預金利息）	940
役員取引等費用	436
その他業務費用	3,962
営業経費	6,093
その他経常費用	974
経常利益	2,747
特別利益	649
固定資産処分益	-
償却債権取立益	99
負ののれん発生益	549
特別損失	160
固定資産処分損	6
減損損失	46
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	107
税金等調整前中間純利益	3,236
法人税、住民税及び事業税	1,007
法人税等調整額	170
法人税等合計	1,177
少数株主損益調整前中間純利益	2,059
少数株主利益又は少数株主損失（△）	170
中間純利益	1,888

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
株主資本		評価・換算差額等	
資本金		その他有価証券評価差額金	
前期末残高	8,000	前期末残高	△ 901
当中間期変動額		当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 215
当中間期末残高	8,000	当中間期変動額合計	△ 215
資本剰余金		当中間期末残高	△1,116
前期末残高	5,433	土地再評価差額金	
当中間期変動額		前期末残高	1,493
当中間期変動額合計	—	当中間期変動額	
当中間期末残高	5,433	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 31
利益剰余金		当中間期変動額合計	△ 31
前期末残高	47,385	当中間期末残高	1,462
当中間期変動額		評価・換算差額等合計	
剰余金の配当	△ 226	前期末残高	592
中間純利益	1,888	当中間期変動額	
土地再評価差額金の取崩	31	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 247
当中間期変動額合計	1,693	当中間期変動額合計	△ 247
当中間期末残高	49,079	当中間期末残高	345
自己株式		少数株主持分	
前期末残高	△ 254	前期末残高	3,174
当中間期変動額		当中間期変動額	
自己株式の取得	△ 7	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 440
自己株式の処分	1	当中間期変動額合計	△ 440
当中間期変動額合計	△ 5	当中間期末残高	2,733
当中間期末残高	△ 259	純資産合計	
株主資本合計		前期末残高	64,332
前期末残高	60,565	当中間期変動額	
当中間期変動額		剰余金の配当	△ 226
剰余金の配当	△ 226	中間純利益	1,888
中間純利益	1,888	自己株式の取得	△ 7
自己株式の取得	△ 7	自己株式の処分	1
自己株式の処分	1	土地再評価差額金の取崩	31
土地再評価差額金の取崩	31	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 687
当中間期変動額合計	1,687	当中間期変動額合計	999
当中間期末残高	62,253	当中間期末残高	65,332

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第100期 中間貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
資産の部	
現金預け金	44,867
コールローン	335
買入金銭債権	-
商品有価証券	285
金銭の信託	800
有価証券	239,846
貸出金	713,844
外国為替	962
その他資産	6,060
有形固定資産	9,044
無形固定資産	310
繰延税金資産	6,875
支払承諾見返	4,505
貸倒引当金	△9,297
資産の部合計	1,018,439
負債の部	
預金	917,932
譲渡性預金	-
コールマネー	9,000
借入金	15,000
外国為替	3
その他負債	6,273
未払法人税等	904
リース債務	719
資産除去債務	57
その他の負債	4,592
役員賞与引当金	12
退職給付引当金	3,167
睡眠預金払戻損失引当金	74
偶発損失引当金	64
再評価に係る繰延税金負債	1,271
支払承諾	4,505
負債の部合計	957,305
純資産の部	
資本金	8,000
資本剰余金	5,430
資本準備金	5,430
利益剰余金	47,694
利益準備金	2,398
その他利益剰余金	45,295
別途積立金	38,860
繰越利益剰余金	6,435
自己株式	△ 259
株主資本合計	60,865
その他有価証券評価差額金	△1,193
土地再評価差額金	1,462
評価・換算差額等合計	268
純資産の部合計	61,133
負債及び純資産の部合計	1,018,439

第100期 中間損益計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで) (単位：百万円)

科目	金額
経常収益	12,239
資金運用収益	9,116
(うち貸出金利息)	6,455
(うち有価証券利息配当金)	2,636
役員取引等収益	968
その他業務収益	1,804
その他経常収益	350
経常費用	9,800
資金調達費用	1,093
(うち預金利息)	940
役員取引等費用	447
その他業務費用	1,352
営業経費	5,966
その他経常費用	940
経常利益	2,438
特別利益	98
特別損失	159
税引前中間純利益	2,377
法人税、住民税及び事業税	967
法人税等調整額	156
法人税等合計	1,124
中間純利益	1,253

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第100期 中間株主資本等変動計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
株主資本		自己株式	
資本金		前期末残高	△ 254
前期末残高	8,000	当中間期変動額	
当中間期変動額		自己株式の取得	△ 7
当中間期変動額合計	－	自己株式の処分	1
当中間期末残高	8,000	当中間期変動額合計	△ 5
資本剰余金		当中間期末残高	△ 259
資本準備金		株主資本合計	
前期末残高	5,430	前期末残高	59,813
当中間期変動額		当中間期変動額	
当中間期変動額合計	－	剰余金の配当	△ 226
当中間期末残高	5,430	中間純利益	1,253
資本剰余金合計		自己株式の取得	△ 7
前期末残高	5,430	自己株式の処分	1
当中間期変動額		土地再評価差額金の取崩	31
当中間期変動額合計	－	当中間期変動額合計	1,052
当中間期末残高	5,430	当中間期末残高	60,865
利益剰余金		評価・換算差額等	
利益準備金		その他有価証券評価差額金	
前期末残高	2,353	前期末残高	△ 939
当中間期変動額		当中間期変動額	
利益準備金の積立	45	株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△ 254
当中間期変動額合計	45	当中間期変動額合計	△ 254
当中間期末残高	2,398	当中間期末残高	△ 1,193
その他利益剰余金		土地再評価差額金	
別途積立金		前期末残高	1,493
前期末残高	38,860	当中間期変動額	
当中間期変動額		株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△ 31
当中間期変動額合計	－	当中間期変動額合計	△ 31
当中間期末残高	38,860	当中間期末残高	1,462
繰越利益剰余金		評価・換算差額等合計	
前期末残高	5,423	前期末残高	554
当中間期変動額		当中間期変動額	
利益準備金の積立	△ 45	株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△ 285
剰余金の配当	△ 226	当中間期変動額合計	△ 285
中間純利益	1,253	当中間期末残高	268
土地再評価差額金の取崩	31	純資産合計	
当中間期変動額合計	1,012	前期末残高	60,367
当中間期末残高	6,435	当中間期変動額	
利益剰余金合計		剰余金の配当	△ 226
前期末残高	46,636	中間純利益	1,253
当中間期変動額		自己株式の取得	△ 7
利益準備金の積立	－	自己株式の処分	1
剰余金の配当	△ 226	土地再評価差額金の取崩	31
中間純利益	1,253	株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△ 285
土地再評価差額金の取崩	31	当中間期変動額合計	766
当中間期変動額合計	1,057	当中間期末残高	61,133
当中間期末残高	47,694		

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式のご案内

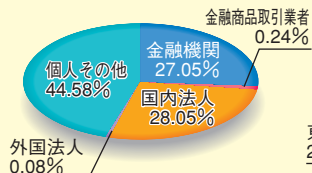
役員

(平成22年9月30日現在)

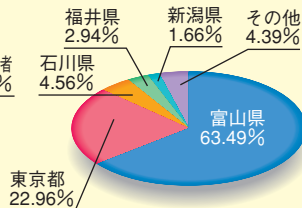
1. 株式の状況 (平成22年9月30日現在)

- | | |
|----------------|--------------|
| (1) 発行する株式の総数 | 180,000,000株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 60,809,700株 |
| (3) 当期中の名義書換件数 | 121件 |
| (4) 当期中の名義書換株数 | 793,820株 |
| (5) 株主数 | 5,645名 |

[所有者別株式数]



[地域別株式数]



2. 決算日

毎年3月31日

3. 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

4. 配当金受領株主確定日

- (1) 利益配当金 毎年3月31日
- (2) 中間配当金 毎年9月30日

なお、配当金のお受け取りには、お近くの当行本支店の預金口座へ振込のご指定をいただきますと、お受け取りが早くてまちがいもなくご利用いただけます。

5. 基準日

定時株主総会については3月31日といたします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

6. 公告掲載新聞名

富山市において発行する北日本新聞

7. 株式取扱手数料

- (1) 株式名義書換 無料
- (2) 新券交付 株券1枚につき200円
- (3) 株券喪失登録 1件につき 3,000円
株券1枚につき360円

8. 株主名簿管理人・事務取扱場所・取次所

- (1) 株主名簿管理人
(〒100-0005) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- (2) 同事務取扱場所
(〒100-0005) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- (3) 同 連絡先 (郵便物送付先及び電話照会先)
(〒137-8081) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
- (4) 同 取次所
三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

取締役

代表取締役会長	金岡純二
代表取締役頭取	横田格
取締役常務執行役員	福原祥二
取締役常務執行役員	武隈光男
取締役常務執行役員	橋本一
取締役	稲垣義雄
取締役	藤岡正紀
取締役	南茂敬
取締役	浅井澄夫
取締役	浅野博文

監査役

常勤監査役	津根憲正文
常勤監査役	本多正文
監査役	金岡克己
監査役	横山哲夫

執行役員

執行役員	藤澤繁幸
執行役員	竹山幸正
執行役員	柴田栄文
執行役員	釣安孝

連結子会社の状況 (平成22年9月30日現在)

会社名/本店所在地	業務内容	資本金 百万円	設立年月日
富山ファースト・ビジネス(株) (富山市奥田本町6番35号(富山ファイナンスビル内))	現金などの精査・整理 労働者派遣事業等	10	昭和63年2月13日
富山ファースト・リース(株) (富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル5F))	リース業務等	40	昭和59年12月1日
富山ファースト・ディーシー(株) (富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル6F))	クレジットカード 信用保証業務等	20	昭和62年3月18日
(株)富山ファイナンス (富山市新坂町2番地24)	信用保証業務・ 金銭の貸付業務等	10	昭和29年10月5日

連結子会社である富山ファースト機販株式会社は、平成22年4月1日付で連結子会社である富山ファースト・リース株式会社を存続子会社とする合併をいたしました。

ファースト・バンク店舗のご案内 (平成22年11月1日現在)

富山県内 (57カ店)

★本店営業部	富山市総曲輪二丁目2番8号	(076) 424-1211
本店営業部総曲輪出張所 (資産運用プラザ)	富山市総曲輪一丁目7番15号	(076) 442-8012
ビジネスプラザ支店	富山市総曲輪一丁目7番15号	(076) 433-2120
★ニューセンター支店	富山市牛島新町5番5号	(076) 444-8111
★富山南センター支店	富山市掛尾町626番地	ファーストバンク グリーンビル2F (076) 424-1470
グリーンビル・ ローレンセンター支店	富山市掛尾町626番地	ファーストバンク グリーンビル1F (076) 422-6100
●富山駅前支店	富山市新富町一丁目4番7号	(076) 441-4466
●堤町支店	富山市堤町通り二丁目2番15号	(076) 423-7691
●石金支店	富山市石金三丁目1番1号	(076) 424-1786
●五福支店	富山市五福1916番地	(076) 431-8086
●小泉支店	富山市西中野本町1番10号	(076) 423-8381
●下新支店	富山市千代田町9番14号	(076) 432-3651
●東町支店	富山市東町一丁目5番1号	(076) 421-2311
岩瀬支店	富山市東岩瀬町295番地	(076) 437-7124
水橋支店	富山市水橋町25番地の4	(076) 478-2141
堀支店	富山市下堀54番地	(076) 423-2230
問屋町支店	富山市問屋町二丁目11番38号	(076) 451-1177
荏原支店	富山市向新庄200番27	(076) 423-8540
月岡支店	富山市開発201番地	(076) 429-5511
根塚町支店	富山市新根塚町一丁目5番25号	(076) 491-2233
針原支店	富山市金泉寺247番地	(076) 451-2111
呉羽支店	富山市呉羽町7162番地の5	(076) 436-1122
●山室支店	富山市山室187番地の9	(076) 492-1710
北の森支店	富山市森三丁目2番11号	(076) 437-5000
鷲坂支店	富山市婦中町分田88番地の4	(076) 422-1170
●婦中支店	富山市婦中町速星818番地	(076) 466-2121
●八尾支店	富山市八尾町東町2231番地	(076) 454-3141
大沢野支店	富山市上大久保1899番地	(076) 467-2336
上滝支店	富山市上滝288番地	(076) 483-1311
立山支店	中新川郡立山町五百石16番地の1	(076) 463-1235
上市支店	中新川郡上市町三日市47番地の15	(076) 473-1230
●滑川支店	滑川市下小泉町75番地の4	(076) 475-3101
★魚津支店	魚津市釈迦堂一丁目1番18号	(0765) 24-1234
魚津駅前支店	魚津市上村木一丁目1番25号	(0765) 24-4433
●黒部支店	黒部市牧野83番地の1	(0765) 52-1230
●宇奈月支店	黒部市宇奈月温泉243番地	(0765) 62-1019

入善支店	下新川郡入善町入膳5430番地	(0765) 72-1188
泊支店	下新川郡朝日町平柳688番地	(0765) 82-1155
★高岡支店	高岡市丸の内1番12号	(0766) 21-3130
★イオンFB支店	高岡市下伏間江383番地	(0766) 27-1231
●高岡中央支店	高岡市木舟町80番地1	(0766) 22-5678
●昭和町支店	高岡市昭和町三丁目3番20号	(0766) 23-7337
清水支店	高岡市清水町二丁目3番24号	(0766) 24-2526
中川支店	高岡市東中川町1番34号	(0766) 24-6363
大野支店	高岡市大野158番地の1	(0766) 23-2353
福岡支店	高岡市福岡町下糞385番地	(0766) 64-5800
太閤山支店	射水市中太閤山一丁目1番地6	(0766) 56-3688
大門支店	射水市大門104番地3	(0766) 52-5507
●新湊支店	射水市中新湊13番5号	(0766) 84-4124
氷見支店	氷見市丸の内10番24号	(0766) 74-1600
氷見南支店	氷見市柳田2081番地の4	(0766) 91-1200
●砺波支店	砺波市本町2番27号	(0763) 32-3363
●福野支店	南砺市福野1320番地1	(0763) 22-2151
城端支店	南砺市城端158番地1	(0763) 62-1204
井波支店	南砺市山見1739番17	(0763) 82-1525
福光支店	南砺市福光7367番地	(0763) 52-1211
●石動支店	小矢部市本町2番4号	(0766) 67-0581

富山県外 (10カ店)

★金沢支店	金沢市南町6番1号	(076) 221-6131
泉支店	金沢市泉二丁目6番7号	(076) 242-1881
東大通支店	金沢市元町二丁目15番15号	(076) 251-5911
糸魚川支店	糸魚川市本町9番9号	(025) 552-1711
●直江津支店	上越市五智一丁目1番27号	(025) 543-3771
●長岡支店	長岡市城内町二丁目2番地1	(0258) 33-4810
●神岡支店	飛騨市神岡町船津1201番地の3	(0578) 82-1031
●高山支店	高山市本町三丁目58番地	(0577) 32-2820
★東京支店	千代田区内神田二丁目15番11号	(03) 3256-6311
★大阪支店	大阪市西区靉本町一丁目9番15号	(06) 6443-4651

★印…外国為替取扱店

●印…外貨両替取扱店

店舗外ATMのご案内 (62カ所)(平成22年11月1日現在)

富山市

- 富山第一銀行総合事務センター
- アーバンプレイス
- 富山赤十字病院
- JR富山駅
- マリエトやま
- 高志会館
- 富山県庁
- 富山市役所
- ショッピングシティアピア
- 富山市民病院
- 越州村
- アビタ富山店
- 本郷町
- グリーンモール山室
- 大阪屋北新町店
- 富山県立中央病院
- アビタ富山東店
- 富山機械工業センター
- 富山県高志リハビリテーション病院
- 済生会富山病院
- 北の森ショッピングタウン
- 水橋ミュージズ
- サンショウ石坂店

- 富山企業団地
- 富山大学(学生会館内)
- 富山大学附属病院
- ボートラムスクエア
- ファボーレ
- 婦中鉄工業団地
- 笹倉
- JR八尾駅前
- グリーンバレー大沢野
- 富山国際大学

立山町

- 立山ナビオ前

滑川市

- エール滑川
- パスタ前
- プラント3滑川店

魚津市

- 魚津中央通り
- アップルヒル
- アビタ魚津店

黒部市

- アルビス黒部店前
- メルシー黒部

- アビタ黒部店

朝日町

- 荒川

入善町

- 入善コスモ21

高岡市

- JR高岡駅
- ジャスコ高岡店
- イオン高岡

射水市

- アイシン軽金属(日曜除く)
- 太閤山バスコ
- アル・プラザ小杉
- イータウン
- 三精工業前
- 西新湊

氷見市

- 氷見プラファ

砺波市

- アビタ砺波店
- ジャスコ砺波店
- サンコー砺波中央店

南砺市

- 福野ア・ミュー
- 南砺中央病院

小矢部市

- ビアゴ小矢部店

飛騨市

- パロー神岡店

○…土曜日稼働店

○…土曜日・日曜日・祝日稼働店

ローン相談コーナーのご案内

■ローン専用フリーダイヤル

☎ 0120-161665

■グリーンビル・ローンセンター支店

TEL (076)422-6100

■イオンFB支店

TEL (0766)27-1231

■魚津駅前支店

TEL (0765)24-4433

お知らせ

本人確認について

麻薬等の不正取引をはじめとする組織的な犯罪から得た資金の洗浄(「マネー・ローンダリング」といいます。)及びテロ資金供与の防止を行うことが、国際的に重要な課題となっております。

日本においても「犯罪収益移転防止法」により、お取引の際にはお客様の本人確認を行うため、所定の公的証明の提示等が必要となりますのでご了承ください。

◎詳しくは窓口へお問合せください。

「振り込め詐欺」にご注意ください

振り込め詐欺が頻発しています。不審な請求があった場合は、ご家族や警察に相談して事実関係を確認した上で対処してください。

身に覚えのない返済請求などがあった場合も安易に振込等を行わないようご注意ください。不安な方は、最寄りの警察や消費生活センターなどにご相談ください。

「振り込め詐欺救済法」に伴う相談窓口の設置について

平成20年6月21日施行の「振り込め詐欺救済法」は、被害者救済の観点から、振り込め詐欺等の犯罪行為により、金融機関の犯罪利用口座に振り込まれ滞留している犯罪被害資金等を、被害に遭った方に分配することにより被害回復を図ることを目的としております。

被害者の皆さまからのお申出および資金の返還手続きの具体的な手続きに関する相談等につきましては、下記の相談窓口へご連絡くださいますようお願いいたします。

～相談窓口～ 富山第一銀行 営業企画部

【電話番号】 076-424-1245

【受付時間】 月曜日～金曜日 9:00～17:00(銀行休業日を除く)

盗難・紛失等のトラブルはここにお電話を!

富山第一銀行ヘルプデスク

☎ 0120-552495 TEL (076)433-7717

24時間
対応!

銀行取引に関するご相談は、以下の機関でも受け付けています。

全国銀行協会相談室

全国銀行協会相談室は、銀行に関するさまざまなご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口として、全国銀行協会が運営しています。ご相談・ご照会等は無料です。

詳しくは、全国銀行協会のホームページ (<http://www.zenginkyo.or.jp/adr/>) をご参照ください。

電話番号: 0570-017109 または 03-5252-3768

受付日: 月～金曜(祝日および銀行の休業日を除く)

受付時間: 午前9時～午後5時

※全国銀行協会は銀行法および農林中央金庫法上の指定紛争解決機関です。

お客様相談室フリーダイヤル

☎ 0120-462-550

受付時間 平日 9:00～17:00

(土・日・祝日を除きます)